

新型コロナウイルス感染拡大への対応について

国内外において新型コロナウイルスによる感染が広がり、会員の皆さまには研究発表大会の開催についてご心配いただいていることと存じます。

年に一度の大会ですので、できるかぎり開催する方向で努力しますが、今後の感染状況によっては、大会を延期または中止する可能性があります。延期等の判断は、あと1ヶ月ほどの状況を見ながら5月半ばまでにおこない、延期または中止する場合は学会HPに掲載するとともに全会員に郵便で通知いたします。

日本道德教育方法学会第26回研究発表大会 プログラム

期日：2020年6月13日（土）、14日（日）

会場：名城大学天白キャンパス 〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口一丁目 501 番地

大会事務局 名城大学人間学部 宮嶋秀光研究室（〒461-8534 名古屋市東区矢田南 4-102-9 名城大学人間学部）

主催：日本道德教育方法学会

後援：愛知県教育委員会（予定）

大会参加費 2,000円・・・会員、非会員とも。当日、受付にて徴収します。

【第1日】6月13日（土）

11:00 12:30 13:00 14:55 15:10 17:40

理事会 (N234)	受付	自由課題研究発表 分科会Ⅰ～分科会Ⅵ	シンポジウム (N101)
---------------	----	-----------------------	------------------

会員控室（共通講義棟北4階 N412）

理事会 11時00分～13時00分（共通講義棟北2階 N234）

受付 12時30分～（共通講義棟北4階）

自由課題研究発表（発表25分・質疑30分）

分科会Ⅰ（N402） 司会：上菌 恒太郎（長崎総合科学大学）

13:00～13:55 ①「考え、議論し、さらに考える」道徳科の深める授業の実践
～“道徳ノート”の活用を中心に、自分に繋ぎ、広げ深める実践～
加藤 智子（愛知県半田市立岩滑小学校）

14:00～14:55 ② 道徳カードを活用した道徳科の授業の提案
－「ポジティブカード」の活用を通して－
溝口 哲志（三重県津市立美杉小学校）

分科会Ⅱ（N403） 司会：小川 哲哉（茨城大学）

13:00～13:55 ① 質問作りの場面とICTによる情報共有の場面を設定した道徳科授業
長谷川 元洋（金城学院大学）

14:00～14:55 ② GIGA スクール構想による道徳科の方向性についての考察
信田 和則（奈良佐保短期大学）

分科会Ⅲ（N404） 司会：堺 正之（福岡教育大学）

13:00～13:55 ① 若手教員とつくる問題解決的な道徳の授業
鈴木 保宏（愛知県西尾市立福地南部小学校）

14:00～14:55 ② 道徳科の授業に関する校内研修や学習会において推進役はどのような
リーダーシップを発揮すればよいのか
谷口 雄一（摂南大学）

分科会Ⅳ (N405) 司会：林 泰成 (上越教育大学)

13:00~13:55 ① 昭和40年代を中心とした井上治郎の道徳授業方式について

上田 博次 (放送大学大学院【院】)

14:00~14:55 ② 道徳科における、子供に自己を見つめさせる指導について考える

服部 敬一 (大阪成蹊大学)

分科会Ⅴ (N406) 司会：田沼 茂紀 (國學院大學)

13:00~13:55 ① みんなで学び合う中心発問を持つ、道徳科の授業

~ “なぜ” “どうして” と “価値観変化” について~

竹野 正純 (愛知県江南市立古知野中学校)

14:00~14:55 ② What? (何?) と Why? (何で?) で道徳的価値を深める授業

~ 子どもにとっても教師にとっても面白く楽しい授業を目指して~

松原 弘 (大阪府和泉市立郷荘中学校)

分科会Ⅵ (N411) 司会：永田 繁雄 (東京学芸大学)

13:00~13:55 ① 「本当の深いアクティブラーニング」深い学びの道徳授業とは?

増田 千晴 (愛知県犬山市立犬山中学校)

14:00~14:55 ② 障害のある児童・生徒などへの配慮をした道徳学習の研究

淀澤 勝治 (兵庫教育大学)

シンポジウム 15時10分~17時40分 (共通講義棟北1階 N101)

テーマ：道徳授業における「深い学び」とは

企画趣旨

2017年に改訂された新学習指導要領において、学びの方向性として「主体的・対話的で深い学び」が示された。主体的で対話的な学びとは、道徳の教科化の議論の際に注目された「アクティブ・ラーニング」(能動的・協働的な学び)が継承されたものである。ただし、アクティブ・ラーニングをめぐるのは、「活動さえすればそれでいいのか」という批判が提示され、ただ話し合い活動をさせるだけでは望ましい学習とはならないことが提起された。

「深い学び」とは、アクティブ・ラーニングのこうした課題をいわば補正する観点であり、ただ話し合いをするだけの「浅い学び」との対照によってめざすべき方向性を示したものであると言えよう。

では、道徳の授業において「深い学び」とはいったいどのような学びなのだろうか。学習指導要領によれば、道徳教育には道徳性を育成するという目標があり、道徳科の授業にも道徳性の育成をめざして道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度を育成するという目標がある。こうした目標をもしも「到達点」と理解するならば、「深い学び」とは目標とする到達点に達することであり、目標を達成していない授業はすべて「浅い学び」ということになるのだろうか。だが、道徳性や道徳的な判断力・心情・実践意欲と態度の育成には完成したといえる到達点が想定不可能だと考えれば、道徳授業の目標は達成目標ではなくめざすべき方向性を示すものとなり、その方向性の中で「深い学び」とそうでない学びを説明する必要性が生じるだろう。それとも、「自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の生き方(人間としての生き方)についての考えを深める学習」のことをさして、「深い学び」というのだろうか。あるいは、「深い学び」とは学習指導要領が示す総論的な方向性ではなく、毎時間の授業における具体的な学習目標(いわゆる「本時のねらい」)において考えるべきものだと捉えるとどうなるのだろうか。

また、次のような観点からも「深い学び」を考察してみる必要はないだろうか。たとえば、「深い学び」の「深さ」は測れるものなのか、「多面的・多角的に考えること」は「深い学び」と呼べるのか、「深い学び」はすべての子どもが到達しなければならない授業の目標なのか、等々。本シンポジウムでは、「深い学び」を「よい授業」と置き換えて単純に理解するのではなく、「深い学び」とは何かという観点にこだわって道徳授業を考えてみたい。

◇ シンポジスト

- 教育方法学・カリキュラム研究の立場から
松 下 佳 代 (京都大学)
- 道徳教育研究の立場から
島 恒 生 (畿央大学)
- 道徳教育研究の立場から
澤 田 浩 一 (國學院大學)
- 道徳授業実践の立場から
服 部 敬 一 (大阪成蹊大学)

◇ 司 会

- 谷 田 増 幸 (兵庫教育大学)
- 小 林 将 太 (大阪教育大学)

【 第2日 】 6月14日 (日)

8:30 9:00 11:55 12:00 12:55 13:05 13:55 14:00 15:30 16:00

受付	自由課題研究発表 分科会Ⅶ～分科会Ⅻ	<昼食> 評議員会 (N234)	会員総会 (N101)	課題研究 (N101)	25周年事業 報告会 (N101)
----	-----------------------	------------------------	----------------	----------------	-------------------------

会員控室 (共通講義棟北4階 N412)

受 付 8時30分～ (共通講義棟北4階)

自由課題研究発表 (発表25分・質疑30分)

分科会Ⅶ (N402) 司会: 渡邊 満 (広島文化学園大学)

9:00～9:55 ① 学びに向かう力、人間性等を涵養するための道徳科における問題解決的な学習—児童自らの問いを生かした授業実践を通して—

小泉 洋彦 (千葉県柏市立名戸ヶ谷小学校)

10:00～10:55 ② 道徳の時間のねらいを達成するために教師がしていること—教師の意図と発問・児童とのやり取りをもとに—

○中山 真樹 (大阪府高槻市立桃園小学校)

平山 勉 (名城大学)

後藤 明史 (名古屋大学)

11:00～11:55 ③ 道徳の授業における p4c 的手法の可能性—「問い」と「対話」を重視した指導の一考察—

山田 貞二 (愛知県一宮市立浅井中学校)

分科会Ⅷ (N403) 司会: 白木 みどり (金沢工業大学)

9:00～9:55 ① 小学校から中学校へ、学びを進化・発展させていく授業をつくる—「いじめと生きる」(中日新聞) D(22) よりよく生きる喜びの実践を比較して—

鈴木 賢一 (愛知県あま市立七宝小学校)

10:00～10:55 ② レジリエンスを主題にした道徳科授業: エビデンスによる臨床授業—自己肯定感を育成する要として—

○森永 謙二 (久留米大学【非】)

上藺 恒太郎 (長崎総合科学大学)

11:00～11:55 ③ 生徒と共に創る“深める道徳の授業”の発問の工夫—教科書を使った道徳授業で成長実感と自己有用感を持たせる—

越智 和実 (三重県名張市立名張中学校)

- 分科会IX (N404) 司会：柴原 弘志 (京都産業大学)
- 9：00～9：55 ①「動き」のある授業で児童生徒の思いを多面的多角的に引き出し、生き方についての考えを深める道徳科の授業のあり方
—杉原千畝の生きざまから国際理解を学ぶ—
- 磯部 一雄 (北海道札幌市立北野台中学校)
杉中 康平 (四天王寺大学)
- 10：00～10：55 ②「自然愛護」に関する道徳・E S Dユニット
～道徳始動型展開構想～
- 吉田 浩一 (東筑紫短期大学)
- 11：00～11：55 ③ 総合的な学習の時間とリンクした中学校道徳科授業
～認知症の症状等が記載された教材を使って～
- 福島 信也 (森ノ宮医療大学)

- 分科会X (N405) 司会：上地 完治 (琉球大学)
- 9：00～9：55 ① 道徳科における「ねらいの明確化」を支援する教材一覧表の開発
—内容項目〔礼儀〕を中心に—
- 浅部 航太 (北海道立教育研究所)
- 10：00～10：55 ② 道徳科の評価の運用と提示時期
- 中山 芳明 (京都府京都市立藤森中学校)
- 11：00～11：55 ③ 道徳科の「内容」についての研究
- 齋藤 嘉則 (東京学芸大学)

- 分科会XI (N406) 司会：谷田 増幸 (兵庫教育大学)
- 9：00～9：55 ①「あたりまえ」に斬り込む
考えを深めるために生徒の発言の意味を問い続ける
- 海老沢 宏 (東京都八王子市立宮上中学校)
- 10：00～10：55 ②「切り返し」の技術を問い直す
- 丸岡 慎弥 (大阪府大阪市立香簾小学校)
- 11：00～11：55 ③ 道徳科の授業で「“深める”学び」をする2つの“要件”
～“価値観変化の惹き起こし”と“空間づくり”について～
- 柴田 八重子 (愛知淑徳大学【非】)

- 分科会XII (N411) 司会：金光 靖樹 (大阪教育大学)
- 9：00～9：55 ① エビデンスによる臨床授業：成長の力を心に宿す道徳授業
—自己肯定感を育成する学級づくりの要として—
- 岡崎 耕 (長崎県長崎市立長浦小学校)
上藪 恒太郎 (長崎総合科学大学)
- 10：00～10：55 ② 友情について考える道徳授業
—教師による内容項目の多面的な理解を通して—
- 東 勇翔 (鳥取県米子市立福生西小学校)
- 11：00～11：55 ③ 子どもたちが主体的に道徳的価値について考えを深める授業の研究
- 山本 賢也 (大阪府堺市立日置荘西小学校)

※ 第2日の昼食については、各自でご持参ください。大学構内の食堂はご利用いただけません。

評議員会 12時00分～12時55分 (共通講義棟北2階 N234)

会員総会 13時05分～13時55分 (共通講義棟北1階 N101)

テーマ：深い学びを通して、「自己の（人間としての）生き方」を考える道徳授業を どう展開していくか

企画趣旨

昨年度から小・中学校で道徳科が全面実施され、検定教科書の教材を使った道徳授業が展開されており、教育現場では「考え、議論する道徳」授業をどのように行えばいいのかの試行錯誤が繰り返されている。

すでに優れた授業実践が数多く提供されており、実践的な蓄積は着実に進んでいるといえる。ただ、中には、授業の展開方法や教材分析に重点がおかれ、授業方法の技術やスキルの問題で戸惑っているような実践も散見される。授業方法や教授スキルの問題はもちろん重要であるが、そのような問題に実践的関心が向きすぎるのは、道徳授業の本来の目的に沿ったものとはいえないように思う。なぜなら道徳授業の本来のあり方は、学校における道徳教育や道徳科の目標にも記されているように「自己の（人間としての）生き方」に関する深い学びを通して道徳性の育成を図ることであり、それは授業を通して児童生徒たちが、個々の多様な考えや価値観の差異を認めながら、いかにして社会の中で人間としてよりよく生きるための基盤を培っていくのかという取り組みと深く関わっているからだ。

ところが情報化社会の急速な進展の中で、個々人の考えや価値観の多様性は日々拡大しており、それが現代社会の特徴の一つになっている。確かに個々人の多様な見解や価値観が尊重されることは、民主社会の基本的なルールであり、そうしたルールによって個人としての存在を平等に認められる。しかしながら、こうした価値観の多様化は、時として利己主義とエゴイズムを是認してしまう傾向性をも孕んでいる点に注意を向ける必要があるだろう。

多様な考えや価値観の違いを相互に認め合いながら、個々人が「自己の（人間としての）生き方」を深く考えていくことは重要であり、道徳授業実践にはそのような方向性が強く求められている。

本課題研究では、このようなテーマを実践家と研究者が双方向の議論を通じて深めていきたいと思う。

◇ 登壇者

三宅 浩 司（小学校の立場から：愛媛県松山市立久枝小学校）
石川 雅 春（中学校の立場から：愛知県西尾市立東部中学校）
植田 和 也（香川大学）

◇ コーディネーター

小川 哲 哉（茨城大学）